

加古川市における連携中枢都市圏制度の取組について

1 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業

加古川市連携事業数：49 事業

※姫路市のみが取り組む「(2)高次の都市機能の集積・強化」を除く事業数：43 事業

■内訳

分類	全体	加古川市
(1)圏域全体の経済成長のけん引	18	18
(2)高次の都市機能の集積・強化	6	6
(3)圏域全体の生活関連機能サービスの向上	31	25
ア 生活機能の強化に係る政策分野	19	15
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	6	4
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	6	6
合計	55	49

2 主な連携事業の進捗状況

(令和5年3月現在)

分類*	ビジョン(頁)	事業名	主な事業内容、進捗状況
(1)	43	播磨圏域の情報発信	・圏域内の歴史や産業、文化等の資源や魅力について紹介する冊子「はりま読本」(全121ページ)を作成し、圏域内の小学6年生への配付等を通じて、圏域の情報発信を行った。
(1)	50	企業誘致の推進	・加古川市内の企業を含む約3,500社に広域連携・企業投資動向アンケート調査を実施し、圏域の企業の誘致の可能性を調査した。 ・「harmony harima 播磨圏域への企業進出のご案内」を作成し、広域連携・企業投資動向アンケート調査を実施した企業に送付した。
(1)	51	「播磨地域ブランド」の確立	・播磨圏域内に住む消費者に対する播磨地域ブランド、醸造関連事業者、播磨圏域内の醸造品及び特産品等の認知度向上のため、商業施設やスーパーマーケットにおいて、醸造品等の出展・販売イベントを実施。 ・播磨圏域内の醸造品等を使った料理のPRや、料理の提供環境の整備・試行を目的とした、播磨圏域内の飲食店と協業したイベントを実施。 ・播磨圏域内の醸造関連事業者、農水産物等の生産者を紹介する実写動画の作成。
(1)	55	広域観光の推進	・広域観光パンフレットを高速道路のサービスエリア(10箇所)に設置し、圏域外の住民に向けて、圏域の観光情報や魅力を発信した。 ・姫路観光情報サイト内に設置している広域観光情報ウェブページ「はりま路をゆく」により、圏域内の市町の魅力を発信した。
(1)	56	インバウンド観光の推進	・圏域内における訪日外国人向け体験型観光プログラムの旅行商品をインバウンド向けWebサイト等で販売し、加古川市を訪れる外国人観光客の誘致を図った。 (加古川市のプログラム：国宝鶴林寺で写経、写仏、座禅等の日本文化を体験) ・発酵食品の製造体験と国宝寺院での修行体験を組み合わせたツ

			<p>アー「国宝寺院と伝統醸造食品で心と体を醸す旅」を開発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光パンフレット「姫路・はりま」（英語、タイ語、マレー語、インドネシア語）、広域観光情報ウェブページ「はりま路をゆく」等を活用し、各種イベントで播磨圏域の観光PRを実施した。
(3)	76	図書館の相互利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・播磨圏域各市町の在住者について図書館の利用登録の対象として、貸出等の利用サービスを行っている。 (R4年度登録者数1,337人、R5年9月現在登録者数9,455人) ・加古川市の図書館HPにおいて「8市8町相互利用図書館横断検索」サイト(https://uf-pub01.ufinity.jp/himeji_lib/)へリンクを設定し、案内を行っている。 ・加古川市電子図書館において、加古川市の図書館で利用登録を行い、パスワードを取得した圏域在住者も利用対象にしている。(R5年9月現在対象者数2,603人)
(3)	80	若年者等の就業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークや経営者協会等と連携し、関係市町の事業者や求職者等を対象とした合同就職説明会を開催した。 (加古川市開催：2回 加古川市内参加事業者数：10社)
(3)	85	環境意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・水素の活用について圏内の先進区域である姫路市が共催する「ひょうご水素社会推進シンポジウム」を後援し、チラシを配架するなど周知を行った。
(3)	97	職員研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・8市8町1団体で構成される播磨自治研修協議会が主催する研修に、延べ87名の職員を派遣した。また、実施された研修(全25講座)のうち2講座について会場を提供した。